

第216号
発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回15日
定価1部5円

7月1日現在

人口	7,327 (-1)
男	3,615 (+4)
女	3,712 (-5)
世帯数	1,684 (-1)

カッコ内は前月との比較

なかさと

第四回 清津峡まつり開かる

上信越国立公園の中でも屈指の景観を誇る清津峡は、そこに通ずる道路の整備や民宿ができた事、又村当局の観光行政への力入れ等により一層の脚光をあびてきた。こうした中で村観光協会が行って来た清津峡まつりも今年で第四回を迎え、二十一日の両日、多彩な行事を盛りこんで開催される。清津峡まつりの主な行事は、二十日(土) 〇民謡大会(夜八時より) 湯本清津館駐車場 〇キャンプファイヤー(夜八時より) 瀬戸口



成人式開かる

出席者 53名

恒例の成人式が今年七月九日に役場講堂で開催されました。今年の対象者は、百四名。うち出席者は五十二名(男三十五名、女十八名)。式は九時半すぎから始まり、公民館長さんの式辞、来賓の祝辞、記念品の贈呈、成人代表の謝辞の後、長岡工業専門学校校長の竹内先生から「立志と青年時代」という演題で講演をしていただきました。

高橋幸作氏の 顕彰碑建立さる

清津川右岸開発と農業構造改善事業に情熱を傾け完成させた高橋幸作氏の顕彰碑が、清津川土地改良区組合員一同有志の手により、氏の功績を後世に残さんために建立され、去る二十一日除幕式が行われた。

〇深山市(夜八時二十日)より午後四時(二十一日)まで

〇織物展示会(午前八時より午後四時まで) 清津館新館大広間

〇にじます釣大会 午前七時より午後四時まで 万年橋附近

料金 前売券 二五〇円 当日券 二二〇円

行政相談所開設のお知らせ

国や県の行政に対する苦情や不満など、どんな事でも結構ですので、お気軽にお出かけ下さい。心配ごと相談も同時に開設する事がありますからご利用下さい。

一日時 毎月第四金曜日 午後一時~四時 (今日は二十七日です)

〇日時 場所
一場所 中里村公民館
二場所 山田正平さん (上山)

〇相談は無料で秘密は守られます。

高昭和四十二年四月一日より行政相談を担当されていた関根隆です。

碑は段丘地(上山) 中央東部に建てられ、そこからは遙か遠く倉原や津南の台地が望まれ、碑は静かに大地の豊かな美りを見守っているかのようである。碑文の中に高橋幸作氏は、農村の中心は稲作であり、稲作性の打破、生産性の向上にあるとしていた。当時、中里村は誕生間もない新村であり、村内事情はさかめて難かしい中であつたが、よく融和を図り多くの発展への布石を共同事業を遂げた。また農業構造改善事業をとり入れ共同経営による機械化と一貫体制のモデル地区とした。かつて不毛な畑地帯の生える原野、雑木が近代経営の美田地帯に生まれ変わった。その功績をたたえている。



あなたも郷土民謡講習に参加しませんか!

中里村公民館では、郷土の民謡を皆さんから知っていただき、盆踊りをますますさかんにするため、郷土民謡講習を左記により開催いたします。

〇日時 場所
七月二十一日(倉原中学校体育館)
八月一日(高道山小学校体育館)
八月十一日(沢小学校体育館)

〇時間 各会場八時~十時までです。

鈴 魅力ある村づくり

齊藤 大馨

なぜ農村から青年が出てゆくか。むろん、産業経済の急激な成長により、人手が不足しているからである。といつても農村に見切りをつけるのは、これだけではあるまい。

農村青年にいわせると、夕方の五時になると、遠くの工場のサイレンが聞こえてくる。あれを聞く百姓がバカらしくなる工場へ働くボクたちの仲間はずれでおわつて家に帰り、生活を楽んでいる。ボクたちは手先の見えなくなるまで野良仕事をしなければならぬ。ボクたちは労働があるだけで、生活を豊かにする暇もない。ボクたちは労働の健康診断をしたところ三十五才前後の夫婦の過労が目についた。主婦の心臓肥大が二四パーセント、低血圧、八分足の若さを示した。肩こり、三十分の高率を示した。あんなおどろくも落ちた梅雨な梅雨の季節が来た。梅雨の季節が来た。梅雨の季節が来た。

おそろくこれらが農村の現状であろう。

二人を調子では農業高校を卒業させても、農業に魅力がなく都会に出たがるのもムリはない。新しい技術を勉強した長男に「学問だけで百姓ができるか」ともう叱り飛ばす勇気もない。ただあとをついでくれればよい。たれものにならざるを思っている。

農業を魅力あるものにするにはどうすればよいか。新しい技術や知識をどう取り入れ、作業時間を短縮し、ハタラクバチのような生活を改善することだ。家庭のなかで楽しいフレイクをつくりたい。テレビを聞いて、一家だんらんの時をどう過ごすか。

同時に農業の近代化、百姓は単なる労働者ではない。立派な企業家として自覚をもち、多角経営なり、協業化に努力すべきである。

なにも大空や川の死んだ都会追憶の道の折のふし竹藪草

菊子 北向きの滝のみなに顔の花 雪と水面にあわき灯を写し

おのえ 青い瀬へ捨身のようを毛虫落つ 野をはなれあの山この日むさぼれる

玉泉 蚤飼する灯残して村眠る 選びくる七夕道の濡れあやめ

新刊図書案内

今月購入の本は次の通りです。雨で農作業ができないような時、ちよとした時間を利用して読んでみませんか。

自分とは別の世界があつたり、今までの自分から離れた自分と同じ世界があつたりするかもしれない。読書は、自分で知らなかつた自分自身に出会い、その機会を与えてくれるのかもしれない。

吉田松陰とその門下 古川 薫著

小さな巨像 朝日ジャーナル編

朝日ジャーナル編 二二歳の原点 藤原 正典著

二二歳の原点 藤原 正典著

高野悦子著 他人からの出発 牧 羊子著

日本人の意識構造 会田雄次著

アラスカ物語

新田次郎著 あなたは生き残れるか (大地震、都市防災へ挑戦) 毎日新聞社

黒い福音 松本清張

白刃舞臺 志士の死に方 富成 博著

若者たち(下) 立原ゆう 新太陽社

大地を駆ける青春(上下) 須崎勝弥著

日本怪談全集(下) 田中實太郎著

幼児に聞かす日本怪談集 西本鶏介著

長寿の百々条 近藤宏一著

舟橋聖一著 花の生涯 舟橋聖一著

どけち生活術 吉本晴彦著

私を支えた言葉

新田次郎著 春の飛行 曾野綾子著

眠狂四郎無頼控(上下) 柴田錬三郎著

型破りの父親 金子孫市著

さびしい王様 北 杜夫著

登山者のための地形図読本 五百沢智也著

略論辞典 渡辺重樹著

新スピーチ百科 高木隆史著

石付き盆蔵づくり百科 江口正直著

他人に交わる自分の方法 青春出版社

造花(初等、高等) 講談社

趣味の水石百科 村田圭司著

8ミリの撮影と編集 安藤秀子著

アーチエリー

人生往来

長谷川博一著 サークル運動 文理書院

サイクリング 三浦正仁著

キャンプ 日本テレビ編

〇産声

氏名 父の名 部落

広田 謙一 千海

南雲 哲也 忠行 堀之内

藤木和人 秀一 小出

山田嘉代子 敏一 田代

山田 悦子 清栄 芋沢

恩田 巨喜 義 山崎

鈴木 水城 国一 重地

〇高砂

新部 服部 芳雄(三荒屋)

新部 渡部 町了(三津南町)

〇昇天

鈴木 信夫 (三) 下山

阿部 トヤ (毛) 桔梗原

山本 稔 (毛) 山崎

山本 チカ (毛) 小出

(俗信)

昔の人は言いました

◇「きのえね」に雨が降れば六十日降る。
◇「子」丑(雷の上)にかかると三日降る。
◇朝雨と女の腕まくりになまけん(すく止む)
◇益の七日の雨は三粒降っても虫になる。
◇土用の丑の日から秋風が吹く
◇真の裏が高ければ小水、低ければ大水。
◇足長蜂が高い所に巣をかける
◇朝梅干を食べればその日の災難をのがれる
◇子を産んだとき梅干を食べる
◇生活改善の一助として冠婚葬祭の簡素化運動が叫ばれてから久しい。しかし、一面古い習慣の良さを残すこの種の儀式は、うは易いが改善することの難しさを誰しもが承知している。それでも何とかして改善しなげればお互いに困ることになる。
◇この意見が婦人団体などの集会の声として出される。
◇私の体験からすれば冠婚葬祭の遊近所観せきの悪態などを考えず、あくまでも二人の結婚式という考えに立つて行えば、案外苦もなく改善できるものと思う。

◇おかね様前の風邪は買つてもひけ(軽)。
◇歯がぬけた時は下駄の歯を靴でけずれ。
◇八月子は育たないが七月子は育つ。
◇土用の丑の日に湯に入ると一年中人と同じきまめがある
◇益の十七日にラッキョを植えば十七粒になる。
◇河原の柳の木が大きくなると大水がでる。
◇土用の夕立は作がいい
◇土用の丑の日には大根を掘いてはならない。
◇やまぐわの花の白いときは豊作。
◇苗の頭をチョン切ると穂丈が短くなる。
◇土用入りに天気がよければ豊作になる。
小柳 定夫 採集より

郵政職員及び

税務大学校普通科生募集

人事院関東事務局では、昭和四十九年度の国家公務員採用初級試験を実施しますが、この中には郵政職員の募集も含まれております。
(一) 採用予定人員：郵政事務A(男、女、信越地域約九百五十人、関東地域約九百五十人、郵政事務B(男)、信越地域約五百人、関東地域約五百人。
(二) 試験日：第一次試験は十月六日、第二次試験は十月下旬から十一月下旬を予定。
(三) 試験地：信越管内で八会場。
(四) 納税額は先月中旬に税務署から通知されていますので、この金額を今月三十一日までに納める事になっております。

知恵ある廃物利用を

加えて袋に入れ、風呂に入れて沸かし、みかん風呂にしますと香りもよく、よく温まり、その上を白く、キヌ細かにするのに役立っています。
古新聞、古雑誌でも燃やしたり、ゴミとして捨てないでしまつておき、回収屋さんに渡して古紙再生に役立てる事ができます。
古新聞、古雑誌でも燃やしたり、ゴミとして捨てないでしまつておき、回収屋さんに渡して古紙再生に役立てる事ができます。
庭の一隅に穴を掘って捨て、二、三十センチになったら土をかき、尚肥料の時は、電話やNHKの受診料の払込みと同じように、預金口座から自動的に支払われる振替納税制度を利用します。
輸血代金の自己負担金が無料になりました
今までは輸血を受けた時、輸血代金の一部負担金を支払つておりましたが、四月一日以降輸血を受けた人のうち、一部負担金を支払った人へのこの金額を申請によって払い戻すことになりました。申請手続は次の通りです。
(一) 輸血を受けた人で一部負担金を支払った人又はその代理人の申請で行う。
(二) 支給申請は「血液代金支給申請書」に所定の事項(住所、氏名、保険証記号番号、送金を受ける農協、銀行、口座番号等)を記入し、医療機関の証明書を添付して「新潟市関屋下川原町一丁の三十三番赤十字血液センター(055-1)」に送付して下さい。
(三) 申請書は各医療機関に備えてあります。
なかさとの原稿〆切日は毎月七日です

昨日は人の身、今日はちが身

古諺

昨日は人の身、今日はちが身
やらのなればやがて皆が困ると何日もかかって説得した。
その結果、有志の司会者によって披露宴は会費制で進められ、多数の人から祝福された若い二人は幸せそうだった。
そして四年後の今年、姉の結婚生活改善、そのため主婦する人自らやらなければ進むものではない。いかに立派な申し合せも一つ一つ実行しなくては生活改善は絵に描いた餅に終わってしまう。
新生活通信より

青年大会中魚沼大会 中里チーム健闘！ 六種目中四種目を制覇

去る六月十六日郡内各地で行われた青年大会で、中里チームは各種目に健闘、優秀な成績を収めた。この結果、野球、テニス、バレーボール、ソフトボール、中里チームは八月二十五、六日に柏崎市で行われる県大会にそれぞれ出場が決まりました。結果は次のとおり。
(野球)
一位 中里村
二位 津南町
三位 川西町
(テニス)
一位 中里村
二位 津南町
三位 川西町
(バレー)
一位 中里村
二位 津南町
三位 川西町
(ソフト)
一位 中里村
二位 津南町
三位 川西町



婦人バレーボール大会 健闘及ばず！

去る六月二十三日、第四回県民スポーツの日の行事として、津南町総合センターで郡市婦人バレーボール大会が行なわれましたが、中里村の出場、倉俣両チームとも健闘しましたが、入賞できませんでした。
入賞できなかったのは、年々、各町村の技術や力が向上してきたため、いづれの試合も接戦となり、たいへん見応えのある大会でした。
選手は来年川西町で行なわれる大会での健闘を誓いあつて解散しました。
大会成績は次のとおりでした
優勝 十日町Aチーム
二位 津南町Bチーム
三位 川西町Aチーム
四位 津南町Aチーム

集団講習の お知らせ

免許更新時の講習会が行われます。通知のあった人は忘れずに受講しましょう。
日時 七月二十九日
午後一時より
場所 中里村簡易所

人権コーナー

最近、個人の権利意識が強くなって、個人主義が確立されてきました。反面、社会の生活も複雑になって、家庭におきまます隣近所の連帯感がうすれてきたことは否めません。それに、地価が高騰を続けていますので、わずかな土地でも利用しようとするところから、隣近所のトラブルはますますふえて、近所の付き合いも一層深刻になってきています。これらのなかには、相隣関係の法規等が認識されていないばかりに、感情的に对立して、むだなトラブルや人権問題

新しい近隣関係を つくりましょう

最近、個人の権利意識が強くなって、個人主義が確立されてきました。反面、社会の生活も複雑になって、家庭におきまます隣近所の連帯感がうすれてきたことは否めません。それに、地価が高騰を続けていますので、わずかな土地でも利用しようとするところから、隣近所のトラブルはますますふえて、近所の付き合いも一層深刻になってきています。これらのなかには、相隣関係の法規等が認識されていないばかりに、感情的に对立して、むだなトラブルや人権問題

新会員募集

清浄さぎ波会では新会員を募集しています。民謡と民謡に関心のある方は、佐藤モーターズ(T.E.上二〇二二)に申し込んで下さい。

Table with 4 columns: Year, Target, Recipient, and Death. It lists data for years 44 to 48.

循環器(脳卒中) 検診実施のお知らせ
例年行つておりました循環器検診を今年も県医師会、郡医師会、保健所の協力を得て、次の要領で行いますので、対象者は全員検診を受け、恐しい脳卒中を防止しましょう。
(一) 対象者 四十七歳以上六十五歳までの人で、事業所等に勤務していない人
(二) 検診の日程 七月十九日、二十一日
(三) 検診の場所 田沢小学校
(四) 検診料 無料
(五) 検診の結果 二次検診を受けなければならぬ人
(六) 検診料 二百円